

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100912
事業所名	グループホーム でんばあく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 近所の人からは、散歩の折に声かけをよくしてもらいようになり、農園で使用するワラをもらうので収穫した野菜をおすそ分けすることもある。ボランティアではどんぐりの会の歌謡ショーが加わったり、レクのボランティアもあり色々工夫したレクを教えてもらっている。地域との関わりは年々深まってきている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回行われており、町内会長、市職員、包括支援センター職員などの参加を得ている。会議の中で「地域の独居の人や徘徊で困っている人がいたら声をかけてください」と発信したことから、利用者を紹介してもらったケースもある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 介護相談員が2ヶ月毎に来訪し、利用者とは話をしたりゲームをしたりして過ごしている。グループホーム部会では、講師を招いて認知症についての講習があり、職員は参加している。市町村主催の研修にも積極的に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会は年2回、ホームの行事に合わせて行なっている。家族より在宅総合医療費が高いとの意見があり、それぞれの今までのかかりつけ医を利用することも可能とし、家族対応で受診してもらっている。行事の時の写真をアルバムにして、家族に年1回渡している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				